

《平成 26 年度放送番組審議会》

1. 日時：平成 27 年 3 月 27 日（金）
2. 場所：船橋グランドホテル 10:00～11:30

3. 出席者：

番組審議委員	会	長	伊藤 賢二 (船橋商工会議所会頭)
	副 会	長	海寶 嘉胤 (習志野市社会福祉協議会会長)
	委	員	岡村 みゆき (習志野市広報すぐきく課課長)
	委	員	国松 実枝子 (元千葉県教育委員長)
	委	員	西村 由美 (船橋商工会議所事務局長)
	委	員	山田 宏 (習志野商工会議所理事事務局長)

(株) ジェイコム船橋習志野	代表取締役	社長	内山 賢治
	企画・制作部	部長	酒井 学
	企画・制作部	アシスタントマネージャー	梅澤 幸生
(株) ジュピターテレコム	千葉ブロックエリア制作統括部	部長	日沖 英明
事務局	(株) ジェイコム船橋習志野	企画・制作部	柿嶋 美恵

4. 欠席者：

番組審議委員	委	員	鈴木 とし江 (習志野市民まつり実行委員会 事務局次長)
	委	員	古畠 秀昭 (船橋市市長公室広報課長)

敬称略

上記のとおり出席があり、放送番組審議会規定第 4 条の定めに従い、放送番組審議会は有効に成立したので定刻に審議に入った。

## 5. 議事

### (1) 開会の辞

企画・制作部 部長 酒井より、開会の宣言がなされた。

### (2) 会長挨拶

伊藤会長より、挨拶と議事進行についての説明があった。

(各委員の自己紹介は、昨年と変更がないため割愛)

### (3) 社長挨拶および事業概要説明

弊社社長内山より、挨拶と委員各位の日頃の支援に対するお礼の後、

弊社事業内容について詳細な説明があった。

### (4) 平成 26 年度および平成 27 年度の番組編成について

弊社企画・制作部アシスタントマネージャー 梅澤より船橋習志野局制作番組について、ジュピターテレコム 千葉ブロックエリア制作統括部部长 日沖よりコミュニティチャンネル組織の再編とチャンネル編成、J:COM 共通番組について詳細な説明があった。

### (5) 質疑・意見交換について

議長である伊藤会長が各委員に諮ったところ、下記のような発言があった。

## 記

伊藤会長：局の放送に限らず民放でもリピート放送が増えている。もっと工夫がほしい。

地域のゆるキャラ（ふなっしー）などの更なる有効活用を検討してほしい。

デイリーで新たに八千代市がエリアに加わることについて、取り扱いはどのようになるのか？また、なぜ八千代市を加えることになったのか？

地域活性のため、地元企業と日頃からコンタクトを取り合うとよいと思う。

各市の記念行事等に密着してみるのはどうだろうか？

海寶委員：メディアセンター化について、制作の基本的な仕組みは変わらないが、視聴エリアが広がるという理解でよいのか？

今年の「きらっと」は 7/19 に行われるが、市役所前広場が会場となるのはこれが最後となるのでぜひ有終の美を飾る番組を作ってほしい。

国松委員：市の災害用場外アナウンス(行政防災無線)が、聞き取りづらいときもコミチャンを見ると詳細がわかってよいと思う。

お店の紹介等の地図の表示時間を長めにとってほしい。

姉妹都市との交流を密着取材して番組を作ったら面白いと思う。地域でこそできる番組作りをしてほしい。

J:COM の請求書は分かりづらい。もっと工夫をしてほしい。

西村委員：昨年の課題について努力をしていただいたように感じる。

視聴率の報告がほしい。

花火大会の生中継で、帯広告がかかって見づらい場面があった。また、花火と花火の間で、間が空いてしまった時の対応は、キャスターのコメントや来場者へのインタビューでつないでほしい。

デイリーのエリア拡大によるスケールメリットに期待。

全国へ船橋・習志野の情報(名産・観光)を発信していくため、今後も協力体制を作っていきたい。

会社の規模が大きくなっても地域密着は忘れないでほしい。

岡村委員：防災行政無線など、よく対応していただいている。今後改善のための見直しの相談もしていきたい。

今年度は市制 60 周年で番組でもよく取り上げていただき、市民の皆さんにも伝わったように思う。

今後も引き続き努力してほしい。キャラクターの広域展開、特産品の認知度アップ PR のためお互いに協力していきたい。

山田委員：オービックシーガルズの秋津運動場での試合を放映してほしい。

地域の貴重なスポーツ資源。地元の人に知ってもらい、応援してもらうことで、シーガルズが力をつけ、習志野市の認知度アップにもつながると思う。

改編後の「デイリー」でも地域の人にわかるよう地名を外さないでほしい。

緊急の文字情報(データ放送)についてわかりやすくタイムリーに表示をしてほしい。

内山社長・日沖部長・梅澤アシスタントマネージャー：

- ・センター化によるスケールメリットを生かしつつ従来の良さは残していく。
- ・身近な話題や取材につながる情報などあればどんどん紹介してほしい。各方面での相互連携を図りたい。
- ・いただいたご意見は次年度以降改善するよう努力していく。今後も引き続きご協力をお願いしたい。

以上

6. 番組基準に抵触する映像手法を用いた放送実施に関する行政指導についての報告

7. 閉会の辞 以上で議事の全てを終了したので、

企画・制作部部長 酒井より午前 11 時 30 分閉会の宣言があった。